

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月7日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 大
 コード番号 3600 URL <http://www.fjx.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 TEL (075)463—8111
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績 (平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	1,277	—	4	—	41	—	5	—
20年3月期第1四半期	1,323	△0.4	45	△59.1	63	△48.8	19	△71.7

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	2	82	—	—
20年3月期第1四半期	2	66	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第1四半期	11,251		9,726		83.3		1,281	62
20年3月期	11,239		9,838		84.3		1,294	91
(参考) 自己資本	21年3月期第1四半期		9,371百万円		20年3月期		9,469百万円	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間		
	円	銭	円	銭	円	銭	
20年 3月期	—	00	00	12	50	12	50
21年 3月期	—	—	—	—	—	—	—
21年 3月期(予想)	—	00	00	12	50	12	50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	2,669	—	△0	—	19	—	△16	—	△2	19
通 期	5,499	7.5	84	△40.6	131	△31.6	18	△54.3	2	49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 [(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第1四半期	7,340,465株	20年3月期	7,340,465株
-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

21年3月期第1四半期	28,435株	20年3月期	27,401株
-------------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第1四半期	7,312,684株	20年3月期第1四半期	7,314,579株
-------------	------------	-------------	------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、原油価格の高騰や原材料価格の上昇が企業収益を圧迫しつつあるほか、食料品を始め、生活関連商品の相次ぐ値上げが個人消費に影響を及ぼすなど、景気の減速感が強まる展開となりました。

縫い糸市場も、消費者の生活防衛意識の高まりを受けて、衣料品や手作り手芸分野の売れ行きに影響が及びつつあり、全体として予想を下回る受注状況となっております。この結果、当第1四半期の売上高は1,277百万円となりました。

一方利益面では、売上品目構成の変化や、日本における操業度低下、原料価格上昇の影響などによる売上総利益減少の要因に加え、為替差益や株価回復の影響、税金費用及び少数株主利益の負担などにより、営業利益は4百万円、経常利益は41百万円、四半期純利益は5百万円となりました。

部門別の概況は次の通りであります。

家庭系部門

生活関連商品の相次ぐ値上げにより、消費者の生活防衛意識が高まり、手作りホビー分野は全般的に低調に推移しました。当部門は日本国内の売上比率が高く、このため当部門の売上高は447百万円となりました。

工業系部門

国内の衣料品の売れ行きが低調なことから、日本向け衣料品が減産傾向で、縫い糸の受注も日本・中国ともに予想を下回りました。この結果、当部門の売上高は819百万円となりました。

その他部門

当部門は、半製品や手芸関連商品等の販売が含まれておりますが、中国子会社での手芸関連商品の販売が増加傾向にあるものの、半製品の受託加工が減少し、当部門の売上高は10百万円となりました。

(なお、日本および中国の所在地別セグメント情報は11ページをご覧ください。)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12百万円増加しました。主な増減は、流動資産では現金及び預金の減少169百万円、有価証券の減少99百万円、固定資産では建設仮勘定の増加119百万円、投資有価証券の増加168百万円などがあり、流動負債では支払手形及び買掛金の増加137百万円がありました。純資産は、利益剰余金の減少などにより112百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は厳しさを増すものと思われませんが、他の要因による業績の変動も現時点では想定されないことから、平成20年5月14日発表の通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、連結子会社においては、棚卸資産の簿価切下げに関し、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③繰延税金資産の回収可能性の判断

前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 当連結会計年度の当第1四半期連結会計期間から、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、連結子会社の評価基準について原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

当該変更による損益に与える影響はありません。

③ 親会社は、従来、機械装置のうち燃糸設備並びに仕上設備の耐用年数を11年として減価償却を行ってききましたが、平成20年度の税制改正により7年に短縮された当該耐用年数が経済的使用可能予測期間に見合うものと認められたため当該耐用年数に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比較して、営業利益、経常利益及び税金等調整前当四半期純利益が4,656千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,316,884	2,486,587
受取手形及び売掛金	1,388,254	1,346,094
有価証券	100,569	200,366
商品	13,278	11,888
製品	1,143,992	1,134,422
原材料	343,437	361,611
仕掛品	769,240	741,151
その他	153,539	208,484
貸倒引当金	14,060	17,462
流動資産合計	6,215,133	6,473,145
固定資産		
有形固定資産	1,527,082	1,423,447
無形固定資産	123,653	133,021
投資その他の資産		
投資有価証券	1,537,221	1,368,862
長期預金	1,200,000	1,200,000
その他	655,141	647,224
貸倒引当金	6,331	6,246
投資その他の資産合計	3,386,031	3,209,840
固定資産合計	5,036,766	4,766,309
資産合計	11,251,900	11,239,455
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503,090	365,388
短期借入金	62,710	69,634
未払法人税等	8,490	14,289
賞与引当金	17,636	69,528
その他	321,797	285,068
流動負債合計	913,724	803,910
固定負債		
退職給付引当金	2,105	1,853
役員退職慰労引当金	111,920	147,960
生産拠点移転統合損失引当金	98,437	101,437
その他	399,369	345,561
固定負債合計	611,831	596,812
負債合計	1,525,555	1,400,722

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	7,087,576	7,180,076
自己株式	12,478	12,006
株主資本合計	8,756,436	8,849,409
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	553,576	455,560
為替換算調整勘定	61,219	164,793
評価・換算差額等合計	614,796	620,353
少数株主持分	355,112	368,969
純資産合計	9,726,345	9,838,732
負債純資産合計	11,251,900	11,239,455

(2)【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	1,277,364
売上原価	900,828
売上総利益	376,536
販売費及び一般管理費	
運賃及び荷造費	26,096
販売促進費	45,886
広告宣伝費	6,760
役員報酬	10,719
給料及び手当	105,081
従業員賞与	20,504
賞与引当金繰入額	10,182
役員退職慰労引当金繰入額	3,720
退職給付費用	6,319
法定福利費	20,027
旅費及び交通費	13,303
賃借料	6,252
支払手数料	9,980
減価償却費	20,096
研究開発費	15,778
その他	51,800
販売費及び一般管理費合計	372,509
営業利益	4,026
営業外収益	
受取利息	6,280
受取配当金	10,350
為替差益	13,363
不動産賃貸料	2,681
その他	7,237
営業外収益合計	39,914
営業外費用	
支払利息	906
不動産賃貸原価	741
その他	564
営業外費用合計	2,211
経常利益	41,729
特別利益	
固定資産売却益	1,209
貸倒引当金戻入額	2,801
特別利益合計	4,010

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

特別損失	
固定資産除却損	2,852
特別損失合計	2,852
税金等調整前四半期純利益	42,887
法人税、住民税及び事業税	7,731
法人税等調整額	6,113
法人税等合計	13,845
少数株主利益	23,048
四半期純利益	5,993

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	42,887
減価償却費	56,016
有価証券評価損益(は益)	5,499
固定資産売却損益(は益)	1,209
固定資産除却損	2,852
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,801
賞与引当金の増減額(は減少)	51,892
前払年金費用の増減額(は増加)	6,957
退職給付引当金の増減額(は減少)	251
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	36,040
生産拠点移転統合損失引当金の増減額(は減少)	3,000
受取利息及び受取配当金	16,631
支払利息	906
売上債権の増減額(は増加)	94,405
たな卸資産の増減額(は増加)	86,802
仕入債務の増減額(は減少)	176,450
未払消費税等の増減額(は減少)	10,152
その他	60,237
小計	38,123
利息及び配当金の受取額	14,425
利息の支払額	906
法人税等の支払額	4,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	100,000
定期預金の払戻による収入	500,000
有形固定資産の取得による支出	168,944
有形固定資産の売却による収入	1,540
無形固定資産の取得による支出	4,605
貸付金の回収による収入	1,369
貸付けによる支出	20,000
その他	1,502
投資活動によるキャッシュ・フロー	407,857
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	834
自己株式の取得による支出	472
配当金の支払額	85,055
少数株主への配当金の支払額	7,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	94,093

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,783
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	330,296
現金及び現金同等物の期首残高	1,387,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,717,453

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

当社及び連結子会社は、縫い糸・刺しゅう糸の製造、販売のみを事業として行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	992,417	284,946	1,277,364	—	1,277,364
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	75,334	147,537	222,872	(222,872)	—
計	1,067,752	432,484	1,500,237	(222,872)	1,277,364
営業利益又は営業損失(△)	△33,388	55,130	21,742	(17,715)	4,026

(注) 定性的情報・財務情報等 4. その他(3)③に記載のとおり、当社は、従来、機械装置のうち擦糸設備並びに仕上設備の耐用年数を11年として減価償却を行ってまいりましたが、平成20年度の税制改正により7年に短縮された当該耐用年数が経済的使用可能予測期間に見合うものと認められたため当該耐用年数に変更しております。この変更に伴い、従来の方法に比較して、「日本」の営業費用は4,656千円増加し、営業損失は同額増加しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	中国
I 海外売上高(千円)	284,946
II 連結売上高(千円)	1,277,364
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	22.3

(注) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計(累計)期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
区分	金額(千円)
売上高	1,323,647
売上原価	895,260
売上総利益	428,386
販売費及び一般管理費	382,977
営業利益	45,408
営業外収益	
受取利息	5,820
受取配当金	10,069
為替差益	54
貸貸料収入	2,681
その他	3,163
営業外収益合計	21,790
営業外費用	
支払利息	2,309
貸貸料収入原価	718
有価証券評価損	325
その他	378
営業外費用合計	3,732
経常利益	63,467
税金等調整前四半期純利益	63,467
法人税、住民税及び事業税	8,243
法人税等調整額	21,600
法人税等合計	29,843
少数株主利益	14,173
四半期純利益	19,450

(2)(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
	金額
	千円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	63,467
減価償却費	56,197
有価証券評価損	325
貸倒引当金の増加額	2,344
賞与引当金の減少額	△61,399
前払年金費用の増加額	△12,474
役員退職慰労引当金の減少額	△27,240
退職給付引当金の増加額	198
受取利息及び受取配当金	△15,890
支払利息	2,309
売上債権の増加額	△49,169
たな卸資産の増加額	△21,649
仕入債務の増加額	112,200
未払消費税等の増加額	11,141
その他	△17,301
小計	43,062
利息及び配当金の受取額	14,407
利息の支払額	△2,309
法人税等の支払額	△9,920
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,239
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△800,000
定期預金の払戻による収入	100,000
有価証券の償還による収入	1,000,000
投資有価証券の取得による支出	△100,569
有形固定資産の取得による支出	△11,675
無形固定資産の取得による支出	△5,660
貸付金の回収による収入	2,993
その他	△35,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	149,160
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△229
配当金の支払額	△85,432
少数株主への配当金の支払額	△29,408
自己株式の取得による支出	△236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△115,306
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,592
V 現金及び現金同等物の増加額	75,499
VI 現金及び現金同等物の期首残高	780,348
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	855,848

前四半期セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

当社及び連結子会社は、縫い糸・刺しゅう糸の製造・販売のみを事業として行っておりますので、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	日本(千円)	中国(千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,011,892	311,754	1,323,647	—	1,323,647
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	121,197	103,458	224,656	(224,656)	—
計	1,133,089	415,213	1,548,303	(224,656)	1,323,647
営業費用	1,130,553	343,815	1,474,369	(196,131)	1,278,238
営業利益	2,535	71,397	73,933	(28,524)	45,408

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	中国
I 海外売上高(千円)	311,754
II 連結売上高(千円)	1,323,647
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.6